

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組（在生）

教科担当者：（1・2組：坂本）（3・4組：坂本）（5・6組：坂本）

使用教科書：（『現代の国語』（大修館書店））

教科 国語 の目標： 自身で考え、それを日本語で他者に伝えることができる。

- 【知識及び技能】教科書の中の主な漢字の読み書きができ、語彙を理解して使うことができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】文章を読んで自分の考えを書くことができ、他者の話を聞いて自分の意見を伝えることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】自ら課題を見つけ積極的に取り組むことができ、他者と協働して課題に取り組むことができる。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
分からない言葉が出てきた時は、みずから調べる習慣を身につける。	問題や発問に対して、自分の考えをもち、それを他者にも伝える力を習得する。	知らないこと、分からなかったことについて、予習や復習を通して、自ら解決する努力をし、また他者に相談して問題を解決する方法を習得する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書・読					
1 学 期	「考える技術」 【知識及び技能】 ・漢字の読み書きができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題に対して自分の考えをもつことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・わからない語句を調べる。	・指導事項 筆者の主張を読み取る。 ・教材 ワンウィーク 『アシスト常用漢字』 端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・問いに対して自分の考えを書くことができる。 【思考・判断・表現】 ・授業中のグループワークで意見を交換できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『アシスト常用漢字』、プリント等を提出する。	○	○	○	6
	「伝える・伝え合う」 【知識及び技能】 ・語彙を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・場面によって語句を使い分ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「やさしい日本語」を適切に利用することができる。	・指導事項 場面によって言葉を使い分けることができる。 ・教材 『アシスト常用漢字』 端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・問いに対して自分の考えを書くことができる。 【思考・判断・表現】 ・授業中のグループワークで意見を交換できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・やさしい日本語でニュース等を理解することができる。	○	○	○	4
	定期考査					○	○		1
	「設計図を最初に渡せ」 【知識及び技能】 ・話し言葉・書き言葉の違いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・場面に応じてわかりやすく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見を伝えることができる。	・指導事項 相手に情報をわかりやすく伝えることができる。 ・教材 『アシスト常用漢字』 端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・場面に応じて話し言葉・書き言葉を使い分けことができる。 【思考・判断・表現】 ・場面に応じた発言ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークで発言できる。	○	○	○	10
	「的確に伝える」 【知識及び技能】 ・同音異義語等の使い分けを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話し言葉の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・わかりやすく伝える工夫をすることができる。	・指導事項 相手に情報をわかりやすく伝えることができる。 ・教材 『アシスト常用漢字』 端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・同音異義語や似た音の漢語などを使い分けすることができる。 【思考・判断・表現】 ・利き手が理解しやすい発言ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループワークで発言できる。	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
2 学 期	「水の東西」 【知識及び技能】 ・語彙を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えを持つことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に発言することができる。	・指導事項 語句を自分で調べることができる。二項対立を理解することができる。 ・教材 『アシスト常用漢字』 ワークシート 端末の活用 等		○	○	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1
	「「安くておいしい国」の限界」 【知識及び技能】 ・語彙を理解する。統計資料を正確に読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・統計資料を根拠に、自分の考えを持つことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・根拠をもとに、自分の考えを伝えることができる。	・指導事項 統計資料を読み取ることができる。統計資料を比較し、それを根拠に自分の考えを持つことができる。 ・教材 『アシスト常用漢字』 ワークシート 端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	14
	定期考査					○	○	○	1

